

令和 3年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市都市公園（大畑中央公園）	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 櫻井以文
	所在地	むつ市大畑町観音堂25-1
指定期間	令和 2年 4月 1日 ～ 令和 5年 3月 31日 （3年間）	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的</p> <p>条例に掲げる施設の設置目的を達成するために計画的かつ効率的な施設管理を実施するとともに、市民の健康増進並びにスポーツの振興により生活や文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大畑中央公園の施設管理維持に関すること。 ・大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること。 ・体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のための施設提供に関すること。 ・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること。 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区分	計画額 ①	実績額 ②	増減 ((②)-①)
収入合計 (A)	48,528	24,026	▲24,502
うち利用料金額	2,210	912	▲1,298
うち指定管理料	46,228	23,114	▲23,114
支出合計 (B)	48,528	23,249	▲25,279
うち人件費	23,346	11,891	▲11,455
収支差 (A-B)	0	777	▲777
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>○収入について</p> <p>計画との増減については、「2. 収支の状況」及び「3. 施設利用の状況」に記載した表のとおりである。</p> <p>計画は過去の実績に基づいているが、前年からのコロナ禍の影響もあり、計画には至らないため前年と比較し説明とする。</p> <p>施設全体の収入は、前年に比べ75,510円減少し、前年対比92%である。</p> <p>プールについては、漏水配管修繕工事のため7/26から8/6まで臨時休館が、新型コロナウイルス感染防止対策として8/28から9/12までの利用休止があったことから、前年と比べて利用者数は503人減少し、利用料金収入は129,920円減少した。</p> <p>漏水配管修繕工事は、夏休みと重なったことから7～8月の利用者が前年</p>		

	<p>に比べ923人減少したため、それに伴い収入も伸び悩んだ。</p> <p>しかし、コロナ禍の行動自粛が続く中だったが、自主事業の水泳教室を6月から行ったことで利用者数の著しい減少を回避することができたほか、自主練習等の利用増によっても収入の減少に歯止めをかけることが出来た。</p> <p>野球場について、前年より個人利用は増えたものの、大会の規模や人数は感染症対策の影響により減少し、新型コロナ感染状況に伴う大会中止が数件あったことから、前年と比べて利用者数は249人減少したが、利用料金収入は前年開催できなかった4～5月の大会が今年は開催できたことから28,100円増加した。</p> <p>庭球場について、前年と比べて利用者数は4人減少したが、利用料金収入は160円増加した。大畑中学校のテニス部が廃部となり、利用者数の大幅な減少を見込んでいたが、一般の利用者が増えたため、前年とほぼ変わらなかった。</p> <p>陸上競技場について、前年中止となったサッカー大会（1日あたり500人規模）が開催されたことにより、利用者数は1,572人、利用料金収入は26,150円ともに増加した。新型コロナ感染状況により8月末から2週間の利用休止があったが、今年はスポーツ少年団の利用が多くあったことが、利用者数等の増加につながる要因となった。</p> <p>○支出について</p> <p>事業経費について、電気料は前年と変わらないが、水道料は増加した。雨量が多く芝生への散水回数も少なかったものの、プール施設配管の漏水があったことが要因となっている。燃料費は、前年に比べ燃料単価が20円値上がりし増加した。</p> <p>施設の維持管理については、計画的に実施しており、日常及び定期的な点検記録を確認して施設設備の安全と性能について適切に実施した。</p> <p>大きな修繕もなく過ごしているが、間もなく30年を迎えるプール施設は、更新時期の機械設備もあるため、常に注視して管理している。</p>
--	--

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	プール	9, 0 0 0	4, 1 7 2	▲4, 8 2 8
	野球場	2, 4 0 0	1, 2 6 2	▲1, 1 3 8
	庭球場	6 0 0	1 8 5	▲4 1 5
	陸上競技場	4, 3 0 0	3, 0 8 8	▲1, 2 1 2

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無)

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を送信できるようにしている。

意見箱で受けた意見等については、全員で共有し検証しており、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応した。

意見箱及びホームページからの送信への回答は、プール棟廊下に掲示板を設けており利用者への報告を兼ねて公表した。

意見の内容は、好意的な意見が多い。中には要望も含まれており、その内容については、月次報

告や口頭により担当課に申送りをするなど実現に向けて調整をした。特に施設設備に係る備品等について、数年に渡る要望の物品が予算化されない部分は、誠意ある説明又は創意工夫を持って要望に対応した。

利用者からの苦情については、真摯に受け止めている。施設管理者側の真意を丁寧に説明し理解と協力を得られるよう、迅速且つ事実に基づき、誠意を持って対応することを徹底した。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
スポーツ振興事業・水泳教室	614	720	348
スポーツ振興事業・ルネックウォーキング教室	19	16	24
スポーツ振興事業・グラウンド・ゴルフ教室	33	0	19
スポーツ振興事業・少年軟式野球大会	0	0	53

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	A
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	A
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

上半期は、コロナ禍の自粛ムードと感染拡大への警戒が高い中で市民の我慢が続いたため、施設利用にも影響が及んだ。

新型コロナ対策として、むつ市が示す対応を基にマニュアルを整備することにより利用者及び施設の安全を確保するとともに、スタッフの安全について努力をした。

また、施設の安全を確保するため、受付による検温や健康観察等の水際対策を徹底し、利用者記録簿により利用者の把握に努めたほか、定期的に施設内の換気及び消毒について対応した。

基本的な感染症対策に伴い、マスク着用、人との距離、手指衛生について、利用者の協力を得ながら実践しており、遊泳施設はマスクを着用できないことから、入館時の検温及び手指消毒を徹底し、付き添いを制限するなど具体的な措置を講じた。

また、二酸化炭素測定器をプール施設内に4箇所設置して客観的にプール室内環境の確認をし、目に見える形で施設の安全を担保した。

自主事業については、利用促進に大きく寄与した。

水泳教室は、6月から実施した。プール施設の利用の機会を増やすとともに、健康増進及び水泳の競技人口増加につながるきっかけづくりとして役割を果たしている。

着衣水泳教室は準備を進めたが、むつ下北地域外から講師を招聘するため、新型コロナウイルス感染拡大等の状況もあり実施を諦め、中止とした。

ノルディックウォーキング教室は、新たな試みとして国道279号線の新しいバイパスを通り木野部峠越えて自然の家までの企画を実施した。9月は、豪雨災害による影響から実施できなかったが、10月には紅葉を楽しみながらマイナスイオンを感じる木野部峠越えを予定している。

新たな自主事業として、特に高齢者の健康づくりの機会を提供するためのグラウンド・ゴルフ教室を実施した。むつグラウンド・ゴルフ協会の協力を得て6～9月の毎月第4水曜日に実施した。当初、参加者の多くが初心者ということもありルールとマナーの説明から始めたが、回を重ねるごとに楽しさが増し、小雨の開催でも大いに盛り上がった。参加者から、「次年度は実施回数を増やしてほしい。」との意見が多く寄せられ、高評価と受け止めている。次年度は、早い時期からの開催や時間や回数も増やす方向で考えている。

少年軟式野球大会は、実施に向けて準備を進めたが、実施直前に利用休止となりやむを得なく断念した。トーナメントの抽選をして対戦相手が決まっていたこともあり、児童たちの活躍の舞台を用意できなく残念だった。

今期中止した自主事業があったが、施設の設置目的達成とともに活性化につなげるためにも磨きをかけて継続したい。

職員の教育訓練については、新型コロナ感染状況に応じて参加できる研修等には積極的に参加して、新型コロナ対応マニュアルを徹底するために時間を設けて理解を深めてきた。

また、計画にある消防訓練、救助訓練はもとより、施設のサービス向上のための従事員研修は適時に実施した。

これまで当施設を管理してきた経験を活かして、積極的な運営により効果の高い報告ができるように、更なる努力をする所存である。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

- ・新型コロナウイルスの影響や漏水修繕工事による施設閉鎖期間があったが、多様な自主事業を計画し、施設利用者数の増加につなげる取り組みが見受けられ、前年度比でも利用者が増加していることは評価できる。
- ・施設閉鎖時も地元小学校や防災無線などで広報しており、自主性は評価できる。
- ・台風や地震の際にすぐさま施設の現地確認をし、市に報告している点は評価できる。また、8月の豪雨災害では避難所ではないにも関わらず、避難住民を受け入れ、対応したことは大いに評価できる。
- ・施設開設から30年以上経過しているため、経年劣化による故障等が目立ってきているが、異常に気がついた場合は応急案などを考えて、機敏な初動対応に努めていただきたい。